

**2025年3月期 第2四半期
(2024年度 中間期)
決算ハイライト**



埼玉りそな銀行

2024年11月12日

2025年3月期中間期 決算及び業績目標の概要

■ 中間純利益：197億円 前同比+30億円(+18.4%)

● 2期連続増益、通期目標^{*1}比進捗率 76.0%

■ コア業務純益^{*2}：225億円 前同比+5億円(+2.3%)

● 業務粗利益：611億円 前同比+24億円(+4.1%)

健全性・収益性向上を目的とした有価証券ポートフォリオの入替を進めつつ金利上昇に伴う資金利益の増加を主因に、2期連続増収

➢ 国内預貸金利益^{*3}：前同比△4億円

貸出金平残：同 +3.5%、貸出金利回り：同 +1bps

貸出金利回りは反転上昇

➢ フィー収益は増加、過去最高を更新

➢ 債券関係損益(先物込)：前同比△14億円

● 経費：△403億円 前同比△25億円(費用増加)

人財・システムへ積極投資

■ 株式等関係損益(先物込)：86億円 前同比+39億円

政策保有株式の売却が進展

■ 与信費用：△8億円 前同比△6億円(費用増加)、費消率：13.9%

経営改善支援の取組みが奏功

不良債権比率は低位推移：1.09%

自己資本比率はリスクテイクを進めつつ、健全な水準を維持：16.49%

■ 通期業績目標

当期純利益を280億円(期初目標比+20億円、中計最終年度目標比+25億円)へ上方修正

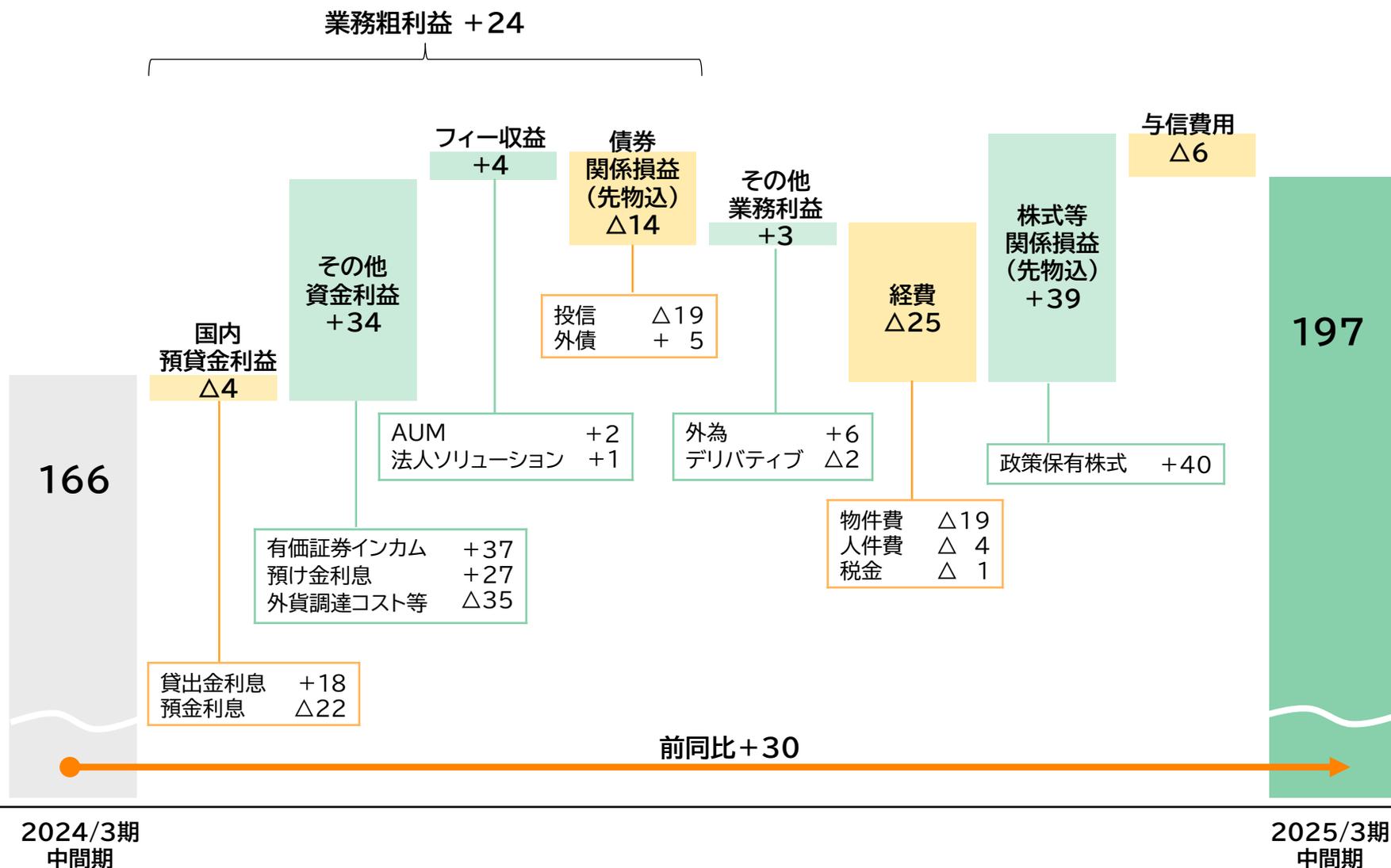
単体(億円)	2025/3期			2025/3期 目標 (d)	前期比 (e)	期初 目標比 ^{*1} (f)
	中間期 実績 (a)	前同比 (b)	増減率 (c)			
業務粗利益 (1)	611	+24	+4.1%	1,215	+127	+35
資金利益 (2)	442	+30				
うち国内預貸金利益 ^{*3} (3)	323	△4				
うち投資信託解約損益 (4)	-	△0				
フィー収益 (5)	171	+4				
フィー収益比率 (6)	28.1%	△0.4%				
信託報酬 (7)	0	△0				
役務取引等利益 (8)	171	+4				
その他業務利益 (9)	△2	△11				
うち債券関係損益(先物込) (10)	△17	△14				
経費 (11)	△403	△25	△6.6%	△795	△35	△5
経費率 (12)	66.1%	+1.5%				
実質業務純益 (13)	207	△1	△0.4%	420	+92	+30
コア業務純益 ^{*2} (14)	225	+5	+2.3%			
コア収益 ^{*4} (15)	142	△7	△5.0%			
株式等関係損益(先物込) (16)	86	+39		90	△51	+25
与信費用 (17)	△8	△6		△60	△23	-
その他の臨時・特別損益 (18)	△8	+9				
税引前当期(中間)純利益 (19)	276	+40	+17.1%	400	+8	+25
法人税等合計 (20)	△78	△9				
当期(中間)純利益 (21)	197	+30	+18.4%	280	+3	+20
連結 ^{*5} 親会社株主に帰属する 当期(中間)純利益 (22)	197	+30	+18.3%	280	+3	+20

*1. 2024年5月14日公表業績目標 *2. 投資信託解約損益を除くコア業務純益(実質業務純益-債券関係損益(現物)) *3. 国内預貸金利益:譲渡性預金を含む

*4. 国内預貸金利益+円債利息等(円債利息・金利スワップ収益)+フィー収益+経費 *5. 連結対象子会社:(株)地域デザインラボさいたま

中間純利益の前同比増減要因

(億円)

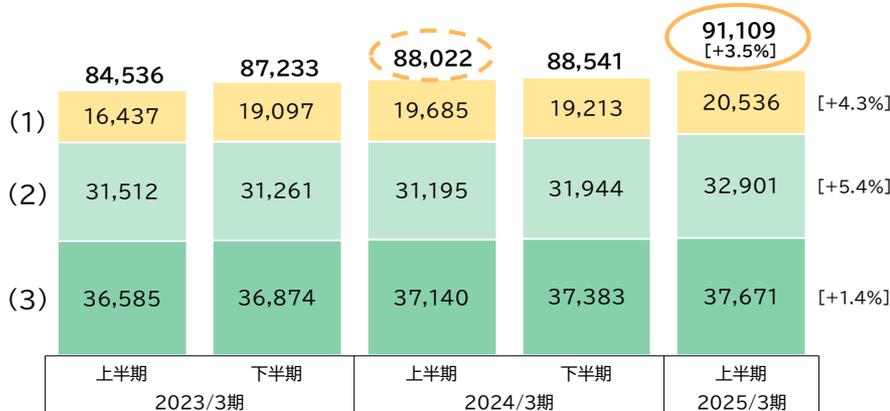


預貸金残高・利回り

貸出金平残(全店)

〔億円、[]内は前同比増減率〕

- (1)公共法人 *2
- (2)事業性貸出金
- (3)自己居住用住宅ローン+消費性ローン

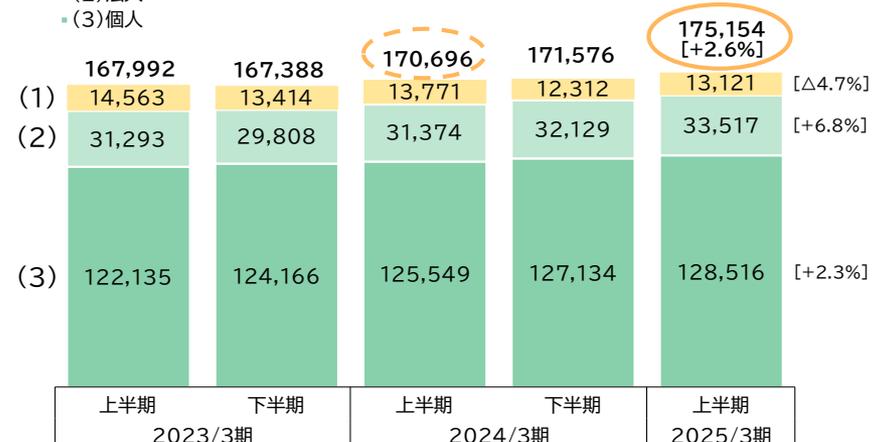


*1. 内訳は社内管理計数 *2. 中堅・中小企業、個人事業主、アパートマンションローン等

預金平残(全店)

〔億円、[]内は前同比増減率〕

- (1)その他
- (2)法人 *2
- (3)個人



*1. 内訳は社内管理計数 *2. 譲渡性預金を含む

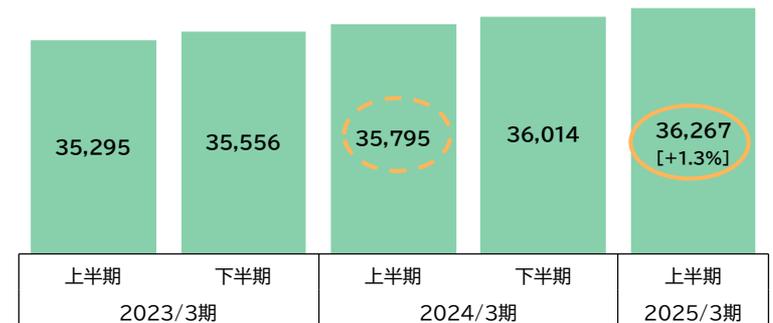
預貸金利回り(国内)

(%)	2022年度		2023年度		2024年度
	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期
貸出金利回り (1)	0.80	0.77	0.74	0.75	0.76
前同比 (2)	△ 0.04	△ 0.06	△ 0.05	△ 0.01	+ 0.01
預金利回り*1 (3)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02
前同比 (4)	△ 0.00	△ 0.00	△ 0.00	△ 0.00	+ 0.02
預貸金利回り差 (5)	0.80	0.76	0.74	0.74	0.73
前同比 (6)	△ 0.04	△ 0.06	△ 0.05	△ 0.01	△ 0.01

*1. 譲渡性預金を含む

自己居住用住宅ローン平残

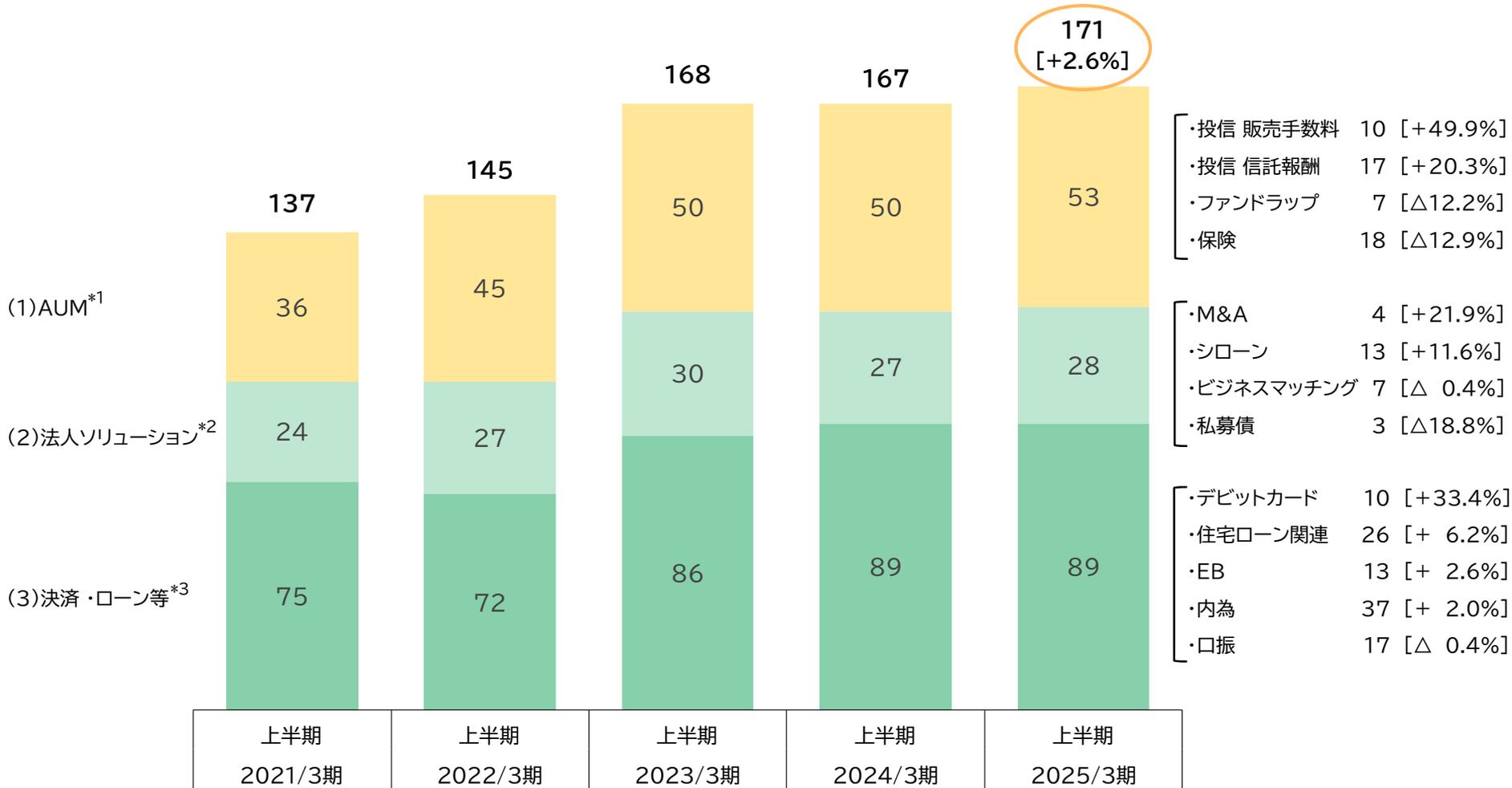
〔億円、[]内は前同比増減率〕



フィー収益

➤ フィー収益はAUMや決済が伸長し増加、過去最高を更新

[億円、[]内は前同比増減率]

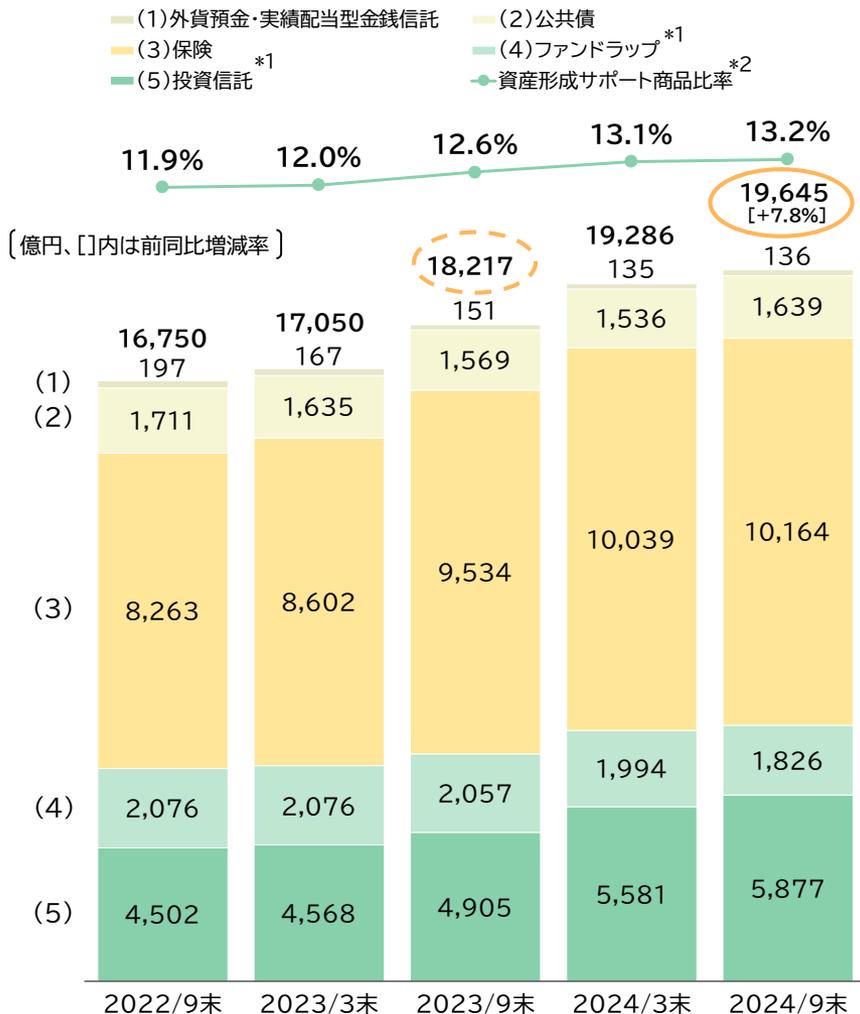


*1. 投資信託(販売手数料・信託報酬)、ファンドラップ、保険の役務利益 *2. M&A、ビジネスマッチング、私募債、シローン、コミット、コペナンツ、一般貸出関連
 *3. 内為、口振、EB、デビット、リそなキャッシュレス・プラットフォームの役務利益 *4. 内訳は社内管理計数

個人向け資産形成サポート

商品残高

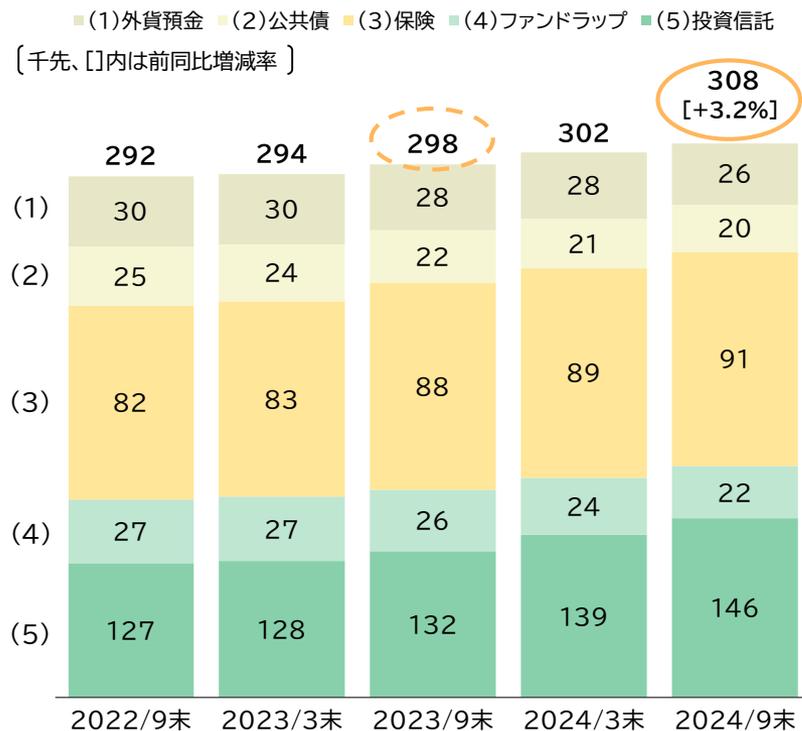
➢ 保険・投資信託が伸長し、個人向け資産形成サポート商品残高は堅調に増加



*1. 時価ベース残高
*2. 個人向け資産形成サポート商品残高 / (個人向け資産形成サポート商品残高 + 個人預金(円貨))
*3. 内訳は社内管理計数

商品利用先数

➢ 個人向け資産形成サポート商品利用先数は堅調に増加



■ NISA契約先数*1 : 115千先 (23/9末比 +14.9%)
 ■ 積立投資信託利用先数 : 75千先 (同 +31.2%)
 ■ iDeCo加入者数*2 : 33千先 (同 +18.4%)
 ■ 企業年金加入者数*3 : 63千先 (同 +6.2%)

*1. NISA、ジュニアNISA、積立NISA *2. iDeCo加入者+運用指図者
*3. 確定給付企業年金加入者数(りそな銀行幹事分)+企業型確定拠出年金加入者数

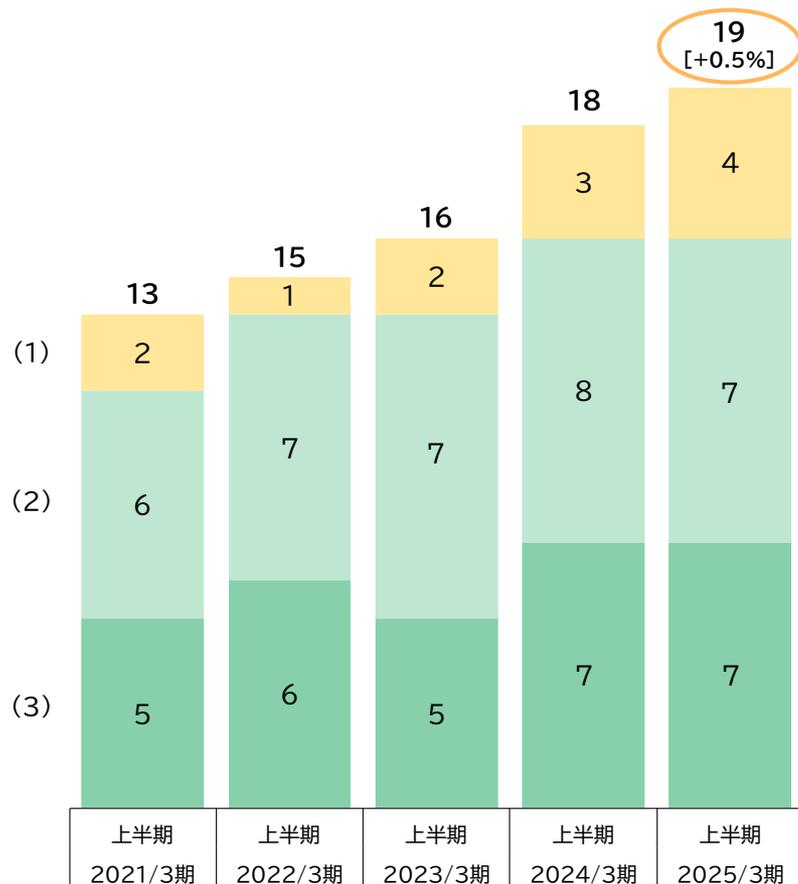
承継

承継関連収益

➤ M&A等の伸長により、承継関連収益は増加

■ (1)M&A ■ (2)承継信託*1 ■ (3)BM

〔億円、[]内は前同比増減率〕



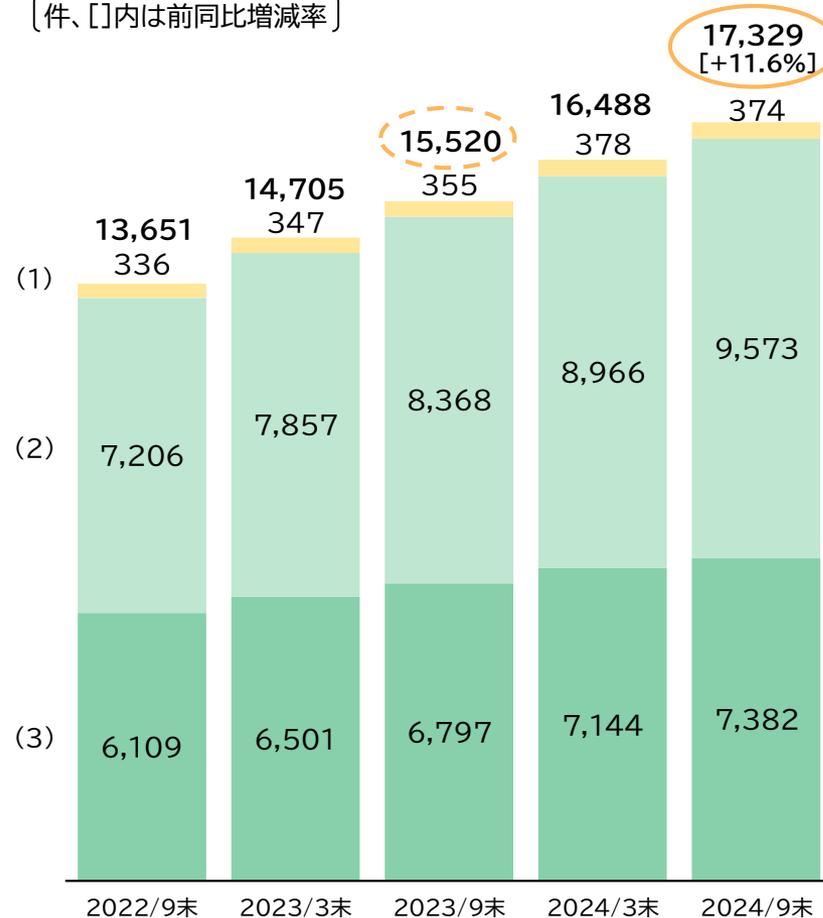
*1. 遺言信託、遺産整理、自社株承継信託、マイトラスト、ハートトラスト、合同金銭信託運用益
*2. 内訳は社内管理計数

資産承継ストック件数

➤ 承継ニーズの高まりを捉え、資産承継ストック件数は増加

■ (1)自社株承継信託 ■ (2)資産承継信託*1 ■ (3)遺言信託

〔件、[]内は前同比増減率〕



*1. マイトラスト、ハートトラスト

与信費用、不良債権

与信費用

➤ 経営改善支援の取組みが奏功

(億円)	2023/3期 (a)	2024/3期		2025/3期	
		中間期 (b)	(c)	中間期 (d)	計画 (e)
与信費用 (1)	△21	△1	△37	△8	△60
一般貸倒引当金 (2)	△10	△10	△16	33	
個別貸倒引当金等 (3)	△11	9	△21	△41	
新規発生 (4)	△53	△6	△48	△21	
回収・上方遷移等 (5)	42	16	26	△20	
				(bps)	
与信費用比率*2 (6)	△ 2.4	△ 0.1	△ 4.1	△ 0.9	△ 6.9

*1. 正の値は戻入を表す

*2. 与信費用／金融再生法基準与信残高(期首・期末平均)

経営改善支援

➤ 2020年8月、本部内に営業店支援グループ新設
経営改善支援の取組みは着実に進捗

(先)	2023/9末 (a)	2024/3末 (b)	2024/9末 (c)	2023/9末比 (d)
延べ経営改善数*1 (1)	365	430	482	+ 117

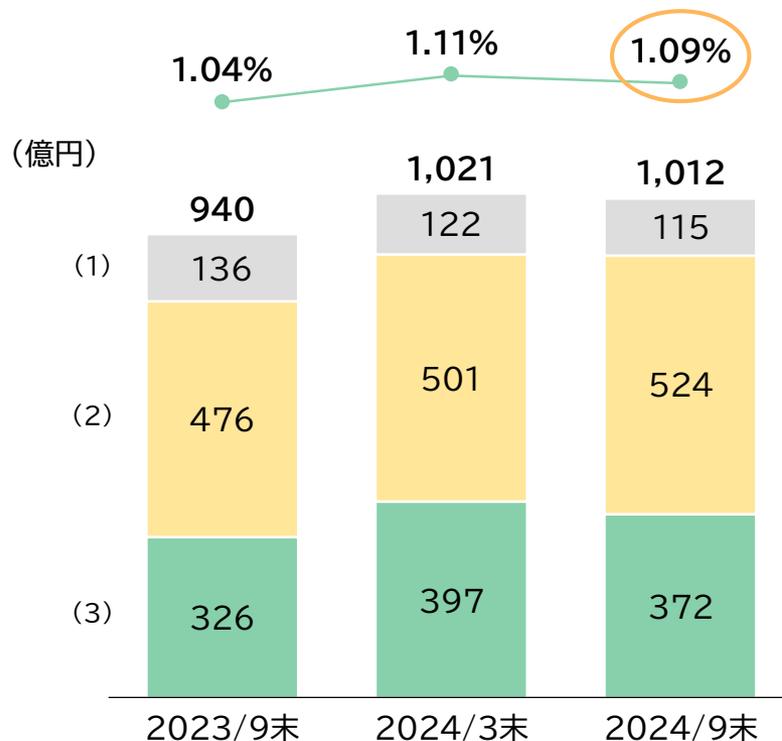
*1. ランクアップ等

不良債権残高・比率の推移

➤ 不良債権比率は低位推移

(金融再生法基準)

- (1)破産更生債権及びこれらに準ずる債権
- (2)危険債権
- (3)要管理債権
- 不良債権比率



有価証券、自己資本比率

有価証券

➤ 国債・外国債券のデュレーションは短縮、株式を除く評価差額は改善

(億円)	2023/3末 (a)	2024/3末 (b)	2024/9末 (c)	評価差額 (d)
その他有価証券*1 (1)	8,978	9,469	11,705	723
株式 (2)	494	451	368	866
債券*2 (3)	6,672	6,154	8,463	△ 131
国債 (4)	1,960	1,513	4,082	△ 55
(デュレーション) (5)	13.7年	9.0年	6.8年	-
(BPV) (6)	△ 2.5	△ 0.9	△ 2.3	-
地方債・社債 (7)	4,712	4,640	4,381	△ 75
その他 (8)	1,811	2,864	2,872	△ 11
外国債券 (9)	707	1,992	1,749	△ 14
(デュレーション) (10)	6.1年	5.5年	3.9年	-
(BPV) (11)	△ 0.2	△ 0.8	△ 0.4	-
国内投資信託 (12)	1,073	871	1,083	2
(評価差額) (13)	741	880	723	
(株式を除く評価差額) (14)	△ 270	△ 205	△ 142	
満期保有債券 (15)	12,915	16,430	16,699	

*1. 取得原価、市場価格のない株式等及び組合出資金を除く

*2. ヘッジ考慮後の計数

自己資本比率(国内基準)

➤ 自己資本比率はリスクテイクを進めつつ、健全な水準を維持

(億円)	2024/3末 (a)	2024/9末 (b)	2024/3末比 (c)
自己資本比率*1 (1)	16.55%	16.49%	△0.06%
自己資本の額 (2)	3,684	3,767	+82
コア資本に係る基礎項目の額 (3)	3,888	3,975	+86
コア資本に係る調整項目の額 (4)	△204	△208	△4
リスク・アセット (5)	22,262	22,842	+579
信用リスク (6)	20,578	20,962	+383
マーケット・リスク (7)	320	457	+136
オペレーショナル・リスク (8)	1,363	1,422	+59
フロア調整額 (9)	-	-	-

*1. 単体・経過措置

*2. 連結自己資本比率(経過措置):16.49%、同(完全実施):11.55%

中期経営計画の進捗

『価値の良い流れを創り出す』共創社会のハブへと進化する3年間

安心で豊かな社会の実現

事業・暮らしの安心
金融リテラシー向上
安心・安全な金融インフラ



金融教育受講者数
8千人
積立投信利用先数
57千人

金融教育受講者数
21千人(+163%)
積立投信利用先数
75千人(+31%)

持続的な成長への貢献

挑戦への伴走
変化への対応
次世代への発展的承継



決済関連収益^{*3}
87億円
資産承継ストック件数^{*4}
15千件

決済関連収益^{*3}
94億円(+7%)
資産承継ストック件数^{*4}
17千件(+12%)

魅力ある埼玉の創造

地域課題の解決
人・企業の流入
誰もが輝く社会



地域課題解決件数
63件
RTF実行額^{*5}
4,199億円

地域課題解決件数
114件(+81%)
RTF実行額^{*5}
7,125億円(+70%)

*1. 計数は2023/9末時点と2024/9末時点の比較であり、社内管理計数を使用。()内は2023/9末比増減率 *2. 決済関連収益を除き、累積値を記載
*3. 内為、外為、EB、口座振替、デビット、りそなキャッシュレス・プラットフォーム *4. 自社株承継信託、資産承継信託(マイトラスト、ハートラスト)、遺言信託 *5. リテール・トランジション・ファイナンス

○事業・暮らしの安心

- ・くらしコンシェルジュ宛の相談件数は5,200件を超え、「頼れる身近な相談パートナー」としての取組みは進展
- ・ファンドラップ「資産承継特約」の取扱開始(国内初)相続時に運用資産を換金することなく承継可能に
- ・埼玉県警と「特殊詐欺等の被害防止に係る協定」締結

○金融リテラシー向上

- ・3,500名を超える学生に対し金融教育実施(前同比+70%)
- ・県内公立高校等への「2025大阪・関西万博」チケットの無償配布、キャリア教育支援

○創業・成長・経営改善支援

- ・持続的な農業の発展に向け、アグリソリューションデスクを新設。事業承継・新規参入支援を強化
- ・埼玉県中小企業診断協会との包括連携協定締結
- ・経営支援リーダーを中心に、支援体制は量的・質的に向上

○ODX支援

- ・りそなグループアプリforビジネスと「補助金・助成金自動診断システム」の連携開始(銀行初)
- ・デジタル地域通貨の導入支援(さいたま市)
- ・地域活性化起業者制度を活用し、皆野町のDX推進をサポート

○OSX支援

- ・空き家対策への取組みを加速。タスクフォースを組成し、エコシステム構築に向けた試行開始
- ・SDGs私募債「日本一暮らしやすい埼玉」推進ファンド発行金額350億円突破
- ・お客さまのカーボンニュートラル実現に向け、約3,100社に対しCO2排出量簡易算出サービスを提供

○地域の魅力発信

- ・りそなコエドテラス開業(産業創出、ブランド発信、賑わい創出)
- ・新紙幣発行に連動したイベント開催(知事対談、記念Tシャツ・現金封筒作成、模擬紙幣掴み取り等)

サステナビリティ

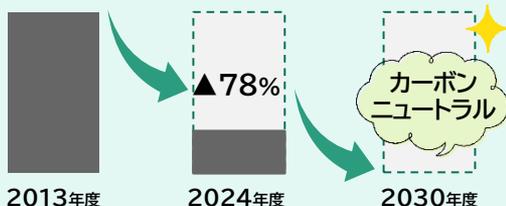
持続可能な社会の実現に向けた取組みを加速

環境



カーボンニュートラル

- ◆ 太陽光発電設備やEV車の導入、再生可能エネルギーへの切替え等を通じ、2024年のCO2排出量は2013年度比78%削減見込み



ネイチャーポジティブ

- ◆ 来春、埼玉県で開催される「全国植樹祭」の機運醸成に向け、『埼玉りそな寄贈型CSR私募債』に「植樹祭応援コース」を追加
- ◆ 多くの企業の賛同を得て、「埼玉りそなの森」に100本の苗木を追加植樹



地域共助



子ども支援

- ◆ 子どもの居場所として活用されている「りそな YOUTH BASE」を、せんげん台(2022年)に続き本社敷地内に開設
- ◆ 事業者が地域貢献活動を行う共創空間を2店舗に新設
- ◆ フードドライブは累計91拠点、3万点に拡大。他にも、本・文房具・服・ランドセルを募るなど取組みは進化



金融教育

- ◆ 成年年齢下げによる金融犯罪被害の防止や資産形成カリキュラム必修化を踏まえ高校・大学生向け金融教育を強化
- ◆ 社員のスキル向上のため、J-FLEC(金融経済教育推進機構)の認定アドバイザーを招き、研修を実施

ダイバーシティ&インクルージョン



多様な人財の活躍

- ◆ 女性の活躍は更に進展



※サステナビリティ長期目標、2030年度に目指す水準

- ◆ キャリア・アルムナイ採用者の活躍も進展

越境

- ◆ 他社、官公庁、NPO法人、ビジネススクール等への派遣を通じて、多様な経験や交流を促す「越境プログラム」を拡充
- ◆ 交流・共創を目的に、産官学のメンバーによる「未来プラスプロジェクト」を立上げ
- ◆ 副業ルールを見直し、越境機会を拡充

ワークライフバランス

- ◆ 育児・介護による時短勤務の対象者拡大や、手当の新設・強化を実施
- ◆ 60歳～65歳の間で定年時期を選べる「選択定年制」や、定年後も70歳まで就労可能な制度を導入

ラボたま



いっしょに成長
ラボたま
 地域デザインラボさいたま

- ・ 設立3年を経過し、これまで425件の案件にアプローチ、**52件の実績**
- ・ 金融の枠を超えた地域課題解決への挑戦を積み重ね、地域の未来にプラスの価値を提供中



日々の活動を配信中♪

観光関連

計2件

川越で、地域の事業者等とも連携し、インバウンド観光客向けの体験コンテンツを企画・提供

2024年10月より、ツアーが販売開始

上記に加え、地元の大学と連携した周遊ツアーの実証実験に取組み



ラボたまの実績
 52件の内訳
 と事例

文化財利活用

りそなコエドテラス
 5/15オープン!



次頁を
 ご覧
 ください!

高校と連携した空き家住教育や発生抑制に関するモデル事業などに取組み

2024年9月には、「空家等管理活用支援法人」として、ラボたまが川島町より指定(県内初)

また、モデル事業を通じ、4市町との連携協定や市・事業者との連携協定を締結。空き家対策への取組みを進展



空き家対策

計8件

産業
 創出支援
 計6件

まち
 づくり
 計9件

公共
 施設
 マネジメント
 計10件

河川
 利活用
 計6件

ふる
 さと納税
 計3件

その他
 計7件

りそな コエドテラス



- 5月15日(水)、国の登録有形文化財である旧川越支店が、「りそな コエドテラス」としてリニューアルオープン！
- “埼玉県の産業・観光・暮らしの好循環を創出し、地域の未来をプラスにする唯一無二の共創拠点”を目指し、産業創出やブランディング、賑わい創出に挑戦しています

来館者数
約**10万人**

会員数※
107先

イベント
開催件数
41件

メディア
掲載件数
48件

★川越市内
創業支援機関
との事業連携
協定締結★



主な取組み内容

01

産業創出事業(1F/3F)

- インキュベーション・コワーキングスペースやシェアオフィス・キッチン、チャレンジショップを活用し、テストマーケティング、共創イベント、アントレプレナー教育等を実施



02

ブランディング事業(1F/2F)

- カフェテリア、レストラン、バー、物販など埼玉や川越の魅力、農と食、文化芸術、地域活動などのブランド発信やPRを実施



03

賑わい創出事業(屋外スペース・2F)

- 屋外イベントスペース、テラス等を活用し、観光客や地域住民など幅広い方が集い、楽しめる拠点づくりを実施



※Resona Kawagoe Base + (インキュベーション・コワーキングスペース)の会員数

(ご参考)貸出金・預金未残の推移

(億円、%)	2022/9末	2023/3末	2023/9末	2024/3末	2024/9末	2024/3末比	2023/9末比	増減率
	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)	(g)	(h)
貸出金 (1)	86,060	88,113	88,251	89,788	91,217	+1,429	+2,966	+3.3%
(政府等向け除き) (2)	(75,983)	(76,563)	(77,322)	(79,162)	(80,048)	(+886)	(+2,726)	(+3.5%)
中小企業等向け貸出金 (3)	64,090	64,397	64,862	65,582	66,155	+572	+1,292	+1.9%
同比率 (4)	74.4%	73.0%	73.4%	73.0%	72.5%	△0.5%	△0.9%	
消費者ローン (5)	45,116	45,250	45,405	45,665	45,882	+216	+477	+1.0%
自己居住用住宅ローン (6)	35,454	35,716	35,936	36,206	36,400	+194	+464	+1.2%
アパートマンションローン (7)	8,351	8,201	8,106	8,074	8,059	△15	△47	△0.5%
消費性ローン (8)	1,310	1,332	1,362	1,385	1,422	+37	+59	+4.3%
中小企業*1 (9)	18,973	19,146	19,456	19,916	20,272	+355	+815	+4.1%
埼玉県内貸出金 (10)	74,310	74,766	75,406	76,870	77,564	+694	+2,158	+2.8%
埼玉県内シェア*2 (11)	43.4%	43.2%	43.3%	43.6%	43.9%	+0.3%	+0.5%	
預金*3 (12)	166,590	169,909	170,502	174,189	174,174	△15	+3,671	+2.1%
流動性預金*4 (13)	127,473	133,973	134,889	138,931	137,475	△1,456	+2,586	+1.9%
定期・譲渡性預金等 (14)	39,117	35,935	35,613	35,257	36,699	+1,441	+1,085	+3.0%
国内個人預金 (15)	123,169	124,608	126,290	127,813	128,855	+1,042	+2,565	+2.0%
同比率 (16)	73.9%	73.3%	74.0%	73.3%	73.9%	+0.6%	△0.0%	
国内法人預金 (17)	31,290	31,599	33,085	34,146	34,150	+3	+1,065	+3.2%
埼玉県内預金*3 (18)	164,758	168,285	169,238	172,949	172,321	△628	+3,082	+1.8%
埼玉県内シェア*2 (19)	45.5%	45.9%	45.8%	46.1%	46.0%	△0.1%	+0.2%	

*1. 中小企業＝中小企業等向け貸出金-消費者ローン *2. 国内銀行勘定ベース

*3. 譲渡性預金を含む *4. 流動性預金＝当座預金＋普通預金＋貯蓄預金＋通知預金

本資料中の、将来に関する記述(将来情報)は、次のような要因により重要な変動を受ける可能性があります。

具体的には、本邦における株価水準の変動、政府の方針、法令、実務慣行及び解釈に係る展開及び変更、新たな企業倒産の発生、日本および海外の経済環境の変動、並びにりそなグループのコントロールの及ばない要因などです。

本資料に記載された将来情報は、将来の業績その他の動向について保証するものではなく、また実際の結果と比べて違いが生じる可能性があることにご留意下さい。

金融+で、 未来をプラスに。

社会がどのように変わっても、
安心して前を向けること。
希望を持って踏み出せること。

そのために私たちは
一つひとつの地域に寄り添い、
金融の枠にとどまらない発想で
小さなことでも、大きなことでも、
未来をプラスに変えていく。

たくさんの安心と希望、
そしてワクワクする未来のために、
私たちりそなは、変革と創造に挑み続けます。

